

3月25日(土)

## 保谷駅のバリアフリー化完成

エレベーター2基、エスカレーター2基を備えた“人にやさしい駅”となります。

西武鉄道(本社:埼玉県所沢市、社長:後藤高志)では、昨年9月より、国土交通省と西東京市からの助成を受けて池袋線保谷駅のバリアフリー化を進めてまいりましたが、3月25日(土)ホームおよび南口にエレベーターを各1基、ホームにエスカレーターを2基の使用開始をもってバリアフリー化が完了します。

これにより、同駅はエレベーター2基、エスカレーター2基を備えた“人にやさしい駅”となり、車いすをご利用のお客さまやご高齢のお客さまにも便利にご利用いただけるようになります。今後は、駅事務室の建て替えとともに、多機能トイレ設備の完成を18年度に予定しております。

また、当社では、今年度、バリアフリー化工事を多摩川線の競艇場前駅、国分寺線の恋ヶ窪駅、池袋線の秋津駅で実施いたしました。

西武鉄道は「人にやさしい鉄道」を目指し、今後とも努力してまいります。



保谷駅のホームに完成したエレベーターとエスカレーター

< 保谷駅について >

所在地	西東京市東町 3 - 1 4 - 3 0
乗降人員	5 2 , 2 4 5 人 (平成 1 6 年度 1 日平均)
主なバリアフリー設備	エレベーター ... 2 基 (ホーム・南口に各 1 基) エスカレーター ... 2 基 (ホームに 2 基)